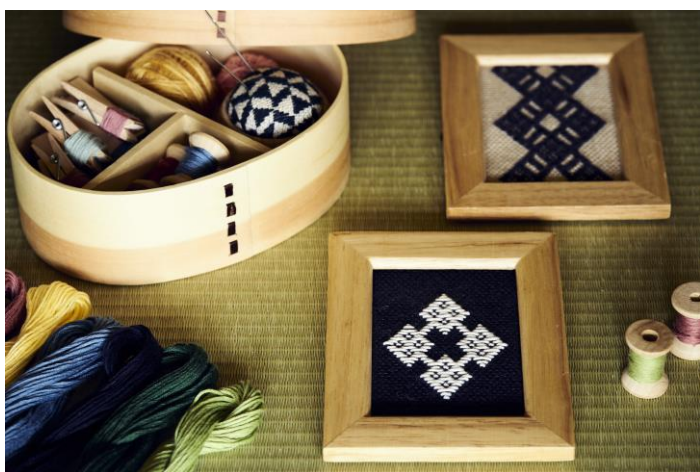


## 界 津軽のご当地部屋 「津軽こぎんの間」のご紹介



ご当地部屋とは  
全国に展開している星野リゾートの温泉旅館ブランド「界」では、  
地域の文化を存分に感じられる「ご当地部屋」を用意しております。



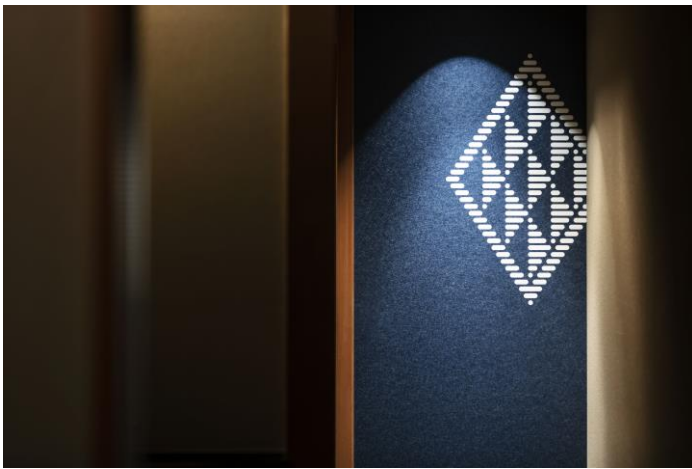
江戸時代に衣類の強度と保湿性を高める工夫として生まれ、次第に美しい装飾として陸奥の人々の着物を飾るようになった、青森の伝統工芸「津軽こぎん刺し」。



その模様を現代風にデザインしたご当地部屋「津軽こぎんの間」でくつろぎのひとときをお過ごしください。



界 津軽では、青森県出身の kogin デザイナー・山端家昌氏とともに、こぎん刺しの模様を現代風にデザインしたご当地部屋「津軽こぎんの間」を全40室ご用意しています。



津軽こぎん刺しのシンメトリなデザインは、洗練された印象を与え、落ち着きを感じる和の空間を演出しています。



津軽こぎん刺しの基礎模様を「モドコ」と呼びます。界 津軽では、壁に飾られたアートワーク「こぎんウォール」や障子、行燈など、客室によって異なるモドコを取り入れました。



## Koginアーティスト 山端家昌氏のご紹介

1983年生まれ、青森県出身。弘前での学生時代に津軽こぎん刺しの着物と出会い衝撃を受ける。デザインとしての無限大の可能性に気づき、グラフィックデザイナー視点で模様の研究・応用に取り組んでいる。